

あなたの手紙が、世界とつながる

～ライティング・マラソン 2012 最新情報！～

ライティング・マラソンのスタートがあと1週間後に迫っていますが、皆さんの準備は順調ですか？東京事務所では、準備に役立つ映像やマニュアルを新たに用意しました。当イベントの内容を理解し、さらに盛り上げるためにもぜひ活用ください。



今年のライティング・マラソンでは、どんなイベントを企画していますか？今回参加予定のグループの中には「シャイン・ア・ライト」のランタンを川に浮かべたり、実際にマラソンをしながら署名を集めたりと、多彩なプランを立てられているようです。皆さんのステキなプランも、ぜひ東京事務所にお聞かせてください。また、ご不明な点やご質問があれば、なんでも東京事務所にお問い合わせください。

アルゼンチンの女性の権利が一步前進です！

アルゼンチンの最高裁判所は10月11日、強かん被害者の妊娠中絶を却下した先の地方裁判所の裁定を覆し、中絶を認める判決を下しました。この決定は、アルゼンチンの女性の権利を前進させる重要なステップになります。

被害者の女性(32歳)は、麻薬密輸団に監禁されていた間に強かんされ、妊娠しました。最高裁は今年3月、「強かん被害者はだれでも裁判所の手続きなしに安全な中絶手術を受けられる」という裁定を下しており、女性は手術を受ける予定でした。しかしその情報を得たカトリック反中絶派のNGO団体が地元の裁判所に申し立てを行い、裁判所がそれを支持したため、中絶手術が中止されていました。しかし今回の最高裁の決定を受け、被害者の女性は中絶手術を受けることができるようになりました。

ドミニカ共和国での正義に向けたアクションを！

ビリアム・デ・ヘスス・チェコさんとセシリオ・ディア



スさんがドミニカ共和国の警察に殺害されてから3年が経ちました。しかし、残された遺族や人権侵害に憤る人びとに、警察からの説明も公正な調査もありませんでした。これはまさに正義を欠いた刑事免責の典型ともいえる事件です。

警察は、殺された2人が2009年に起こったエデュラルド・ゴメスさんの誘拐事件に関係しており、ギャングの銃撃戦に巻き込まれて殺されたと主張しています。しかし2009年11月27日、検事総長に任命された調査委員会は「被害者2人に向けて多数の発砲がなされていることから、被害者が意図的に殺されたことは明らかである」と結論づけました。この日は2人の家族や友人にとって、裁判への道が開かれた希望の日となりましたが、しかしその希望はすぐに打ち砕かれることとなります。

その後、内務大臣と警察は委員会の結論を却下。2010年3月には、大統領が調査委員会の委員の辞職を命じ、後任に殺人課の捜査官を2人昇格させました。ビリアムさんとセシリオさんの家族の弁護士は2010年7月に、警察庁長官、刑事部長、そして国家警察に対して人権侵害の申し立てを起し、遺族たちも裁判の実施を強く求めています。それ以降も調査に進展はありません。

ドミニカ共和国では毎年、何百人もの人びとが警察によって殺害されており、そのほとんどが違法性を帯びた殺人です。アムネスティではこの2人のため、そしてドミニカ共和国における正義を求めるための運動として、ツイッターで展開しています。英語 (@AmnestyOnline) またはスペイン語 (@AmnistiaOnline) のアカウントをフォローしてください。そして3年前には希望の日であった今年の11月27日に始まるアクションに、皆さん、ぜひともご参加ください。

プッシー・ライオットの1人が釈放されました！



フェミニストのパンクグループ、プッシー・ライオットのメンバーであるエカテリーナ・サムツェビッチさんが執行猶予を受けて釈放されました。

プッシー・ライオットのメンバー3人は今年2月、モスクワのロシア正教会に覆面姿で現れ「マリア様、プーチンから私たちを救い出して」と歌い、プーチン大統領と大統領を支援するロシア正教会を批判しました。このゲリラ演奏のために「宗教的嫌悪によるフリーガン行為」で起訴された彼女たちは、8月に拘禁2年の実刑判決を受けました。しかしモスクワ市裁は10月10日、控訴審で判決を下し、マリア・アリョーヒナさんとナジェージダ・トロコンニコワさんは実刑判決を受けたものの、エカテリーナ・サムツェビッチさんは執行猶予で釈放されました。

ロシアでは今年3月の大統領選挙でプーチン大統領が再選されており、今回の拘禁には政治的な思惑があったとアムネスティは考えています。政府は、ここ数か月の間にも表現の自由に対する規制を強化しており、またその規制に触れる人たちを十分に保護しているとはいえません。エカテリーナさん以外の2人が実刑判決を受けたのもその流れによるものです。判決は不当ですが、ひとまずエカテリーナさんが釈放されたことは歓迎すべきものだといえます。引き続き、この事件にご注目ください。



ディオミ・ンドンガラさんが解放されました！

コンゴ民主共和国の国会議員であり、野党キリスト教民主党(DC)の党首であるディオミ・ンドンガラさんが10月11日に釈放されました。ンドンガラさんの家族は、家族にとって大変つらい時期に支援を続けたアムネスティに感謝を伝え、キリスト教民主党もアムネスティに謝意を表明しました。

ンドンガラさんは6月27日、首都キンシャサのコンゴ聖母マリア大聖堂に向かう途中で行方不明となりました。彼はそこで、他の政党と連立を樹立する憲章「一般大統領制多数派政治要綱」に署名する予定でした。数週間後、複数の情報筋によって、彼がキンシャサの諜報機関によって隔離拘束されていることが確認されました。約100日後の10月11日、ンドンガラさんは路上に放置される形で解放されました。彼は拘束されている間に栄養失調となり慢性疾患の治療も拒否されてしまったことが原因で体調を崩していましたが、現在は自宅に戻り治療を受けています。

「アムネスティの皆さんに感謝します。皆さんに助けていただくのは、実はこれが2度目の経験です。もし皆さんが釈放のために活動してくれていなかったら、私はまだ獄中に捉えられていたか、この世からいなくなっていたことでしょう」ンドンガラさんは釈放後に語ってくれました。

コンゴ民主共和国では、反体制派や人権活動家、ジャーナリストへの脅迫や嫌がらせが続いており、アムネスティは同国が市民の安全を守り表現・集会・結社の自由を推進するように求めています。また国連人権理事会にも同様の声明書を提出し、同国の状況を注視しています。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本